

NPO法人
加世田じゃがいもの会
TEL 0993(52)8642

共生・協働の 地域社会づくり

安心して元気に暮らして 社会づくりを目指して

NPO法人加世田じゃがいもの会は、年齢や障がいのある枠にとらわれずに、困ったときはお互いさまという気持ちで、家事や介護の手助けなどの助け合い活動を行っている団体です。

「じゃがいもは一つの種から見えないところでした。つながりがあって、実が増え、花が咲きますよね。私たちの名前も、見えないところでもきちっと仕事をしながら、つながりを持ってやっていこう、そして将来はきれいな花を咲かそうね」という意味が込められています」と語るのは、設立当初の代表者でもある理事長の瀬戸三保さん。このつながりが加世田じゃがいもの会にとつてのキーワードです。

瀬戸さんは養護老人ホーム職員として約



楽しそうにくつろぐ利用者の皆さん

20年の経験を経て、「もっと一人一人のニーズに応じた対応ができないか」と、平成11年10月にケア付きの宿泊施設「じゃがいも愛」と、多目的交流施設「サロン・ド・じゃがいも」を開設しました。

高齢者や障がい者、子育て中の方などさまざまな方が利用する「じゃがいも愛」では、利用者に対して、あまり干渉せずに、自分でできることはなるべく自分でできるように接した結果、ここで自信を持って自立した利用者も多そうです。

平成13年11月にNPO法人化してからは、介護保険に対応した事業所としてさまざまなサービスを提供しています。また「サロン・ド・じゃがいも」は、介護保険の対象者だけでなく、いつでも誰でも宿泊や日帰り入浴などを利用できる、開かれた場となっています。

最近では、平成22年3月に障がい者向けのグループ

ホームとケアホーム一体型の施設「じゃがいも夢」が完成。このホームを作ろうと考えたのは、以前、近くの幼稚園



いつでも、誰でも交流できる「サロン・ド・じゃがいも」

の子どもたちを養護老人ホームに招待した際、日頃、高齢者と接したことのなかった子どもたちがビックリして泣き出してしまい、これに瀬戸さん自身も驚いたことがきっかけです。この体験から、「高齢者や障がい者が生まれた地域で生活し、それが当たり前の社会として地域で支え合えるようにしていかなくてはと思うようになりました。中でも、障がい者と地域のいろいろな人々がお互いに関わりを持って生活できるように、このホームを作りました」と瀬戸さん。

NPO法人設立から10年を振り返って一番感じることは、とにかく人に恵まれ、支えられてきたという心からの感謝の気持ち。だと瀬戸さんは言います。

現在、加世田じゃがいもの会は、自分たちが育ち、住んでいるこの場所が少しでもよくなるように、地域の福祉ネットワーク作りに奔走中です。

代表者からひとこと



理事長の瀬戸三保さん

「人も環境もバリアフリー」、「安心して元氣な地域づくり」を目指し、「やるっきゃない」と思い活動しています。



「じゃがいも夢」の看板。夢には「ゼロから」夢を持って」という意味が込められています。

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階)

◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内)

関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。

TEL 099(286)2241

TEL 099(221)6613